南海トラフ巨大地震対策中部ブロック協議会広域防災訓練　報告

日時：平成 25 年 9 月 1 日(日) 9:30～11:20
場所：豊橋技術科学大学　環境防災棟 202(CARM 会議室)
中部地方整備局豊橋河川事務所調査課;村松氏(電気通信係長)
豊橋技術科学大学;三浦教授，岡辺助教(5 系)，柴田(研究協力課)

[　訓練の概要　]
ほぼ定刻（シナリオより 5 分遅れ）で中部地方整備局災害対策本部との交信を開始
交信内容：大学から豊橋地域の情報提供と，中部地整からの情報提供
通信機器：スマートフォン（回線は LTE）＋Skype

[　訓練シナリオ　]
09:00：訓練開始，M9 南海トラフ地震，発災後 26 時間経過（津波注意報解除）災害対策本部会議開催
・国交省本省との会議（状況報告と大臣からの指示）
・本省と接続したまま，広域の被災情報を収集・共有：富士市（関東地整），
　河川環境楽園（北陸地整）
09:35：災害対策本部会議再開
・各部からの状況報告・本部長指示→一斉メール：内部連携を確認
・遠隔地の訓練を映像や音声通信，電話を交えた状況報告が，
　各部から報告の間に入る
・本部長判断による対応指示を現場へ連絡
・大学との情報共有：名工大，三重大，静大，名大，岐阜大，技科大
・その他，排水・物資輸送・リエゾン派遣・道路確保・ヘリ・船等による災害対応訓練
11:30：訓練終了

災害対策本部との通信